

第 32 号

東北電子工業高等学校
東北工業大学電子工業高等学校
東北工業大学高等学校
同窓会事務局

仙台市太白区八木山松波町5-1
電 話 022(305)2111
F A X 022(305)2114
振替口座 02200-6-5819
発行責任者 加藤 義夫

さい すい
彩翠会報

会長挨拶



彩翠会長 加藤 義夫

会員の皆様におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年と同窓会行事の中で特筆すべきことは、十月末に行われた関東支部総会のことです。懇親会に先立って、アテナ五輪シンクロナイズドスイミングで銀メダルに輝いた「武田美保」氏の講演が行われたことでした。

御自身の体験に基づいた講話を、時折ユーモアを交えながら約一時間に渡って話して頂き、聞いている私達同窓生の心に深く、静かに浸透し、大きな感動をもたらしてくださいました。

講演終了後、武田氏や矢吹校長先生、恩師の先生方を囲みながら和やかな雰囲気の中で懇親に入り、想い出話を花を咲かせ、旧交を温めるいつもの光景が繰り広げられました。

支部長の山田清様、(株)セントラル総合研究所 代表取締役八

木宏之様はじめ関東支部役員の皆様方には多大なる御支援、御協力を賜わり本当に有難うございました。

さて、母校東北工業大学高等学校は、昭和三十六年四月に東北電子工業高等学校でスタートしてから、途中校名変更をして現在四十九年目に入っており、平成二十二年三月には満五十歳の節目を迎えることになりました。

同窓会報三十一号にも記述しましたが、学校創設時から御指導を頂いた大友正雄先生の「学校と同窓会は車の両輪の如き関係にあるべき」との言葉を噛みしめ、近々五十周年を迎えるに当り、同窓会として母校にどんなお手伝いができるのか、話し合っている場を持ちながら、時間をかけて考えて行くことが必要であるうかと思っております。

次の五十年、つまり創立から百周年を迎えることができるよう同窓会としてもしっかりとサ

ポートできる体制を整えて行くことが大切になると考えています。何れ会員の皆様方にも御相談申し上げる機会もあろうかと思いますが、その折には宜しくお願い致します。

今年も一ヶ月後の十一月六日には、龍天江で総会が開催されます。年に一度、多くの仲間達との出会いを心から楽しみにしています。

◎同窓会費納入のお願い

印刷費や会報送料が年々膨らんでおり、更に母校の在校生数も減少して、厳しい財政運営を余儀なくされています。

毎年会報の最終ページに同窓生の会費の納入者御芳名を載せて頂いておりますが、ぜひ、一ページ全てに御芳名を記載できるように、苦しい台所事情御賢察の上、**年会費三千元**の納入に格段の御理解を賜りますようお願いいたします。

ホームページにて同窓会の紹介をしております。ぜひアクセスして下さい。
「ホームページ」<http://www.tohtech-h.ed.jp>

御注意!!

同窓会や学校事務室の名前を使用し、同窓生宅や実家に電話をかけ、勤務先の電話番号等を聞き出すとする業者が存在しているようですが、同窓会でも学校でもそのようなことは一切行っておりませんので十分御注意下さい。

総会案内と事務局便り

第四十六回定期総会・懇親会の御案内

事務局長 永野 英明

総会日程が左記のように決まりましたのでお知らせ致します。

日時 十一月六日(金)

- 一、総会 午後六時
- 二、懇親会 午後六時三〇分

場所 龍天江

(一番町江陽写真館裏手)

(電話〇三二一三三三三九二六)

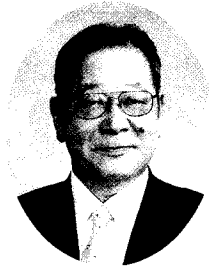
会費 社会人 三,〇〇〇円

学生 一,〇〇〇円

総会には校長先生はじめ多数の恩師の先生方に御出席戴いております。

多くの方に声を掛けて、多数の参加を呼びかけて戴くようお願いいたします。

学 校 長 挨拶



学校長 矢 吹 隆 志

工大高校同窓会の皆様には、いつも母校のために多大のご協力とご援助をいただき感謝申し上げます。開校以来多数の有為な人材を輩出してきた歴史と伝統を誇る工大高校は、本年度創立四十九年、来年は五十年目を迎え、慣例に従い五十一年目にあたる平成二十三年度には、創立記念事業を実施することで、準備作業を進めているところであり、そのために現在、草創期からの伝統は「如何なるもの」であったかを反芻し、その上に立った学校改革を推進していこうと決意しているところであります。

その内容は、全職員で行う容儀指導であり、部活動の活性化、進路指導の強化、入試改革、開かれた学校そして一番重要な、私も教員の資質向上の取り組みです。

以下その基本となる学校三像を記しますので、容赦のないご意見とご指導賜りたく存じます。

東北工業大学高等学校三像

はじめに

子どもは親、家族を喜ばすために生まれ、成長してからは社会に役立つために生まれてきた。本校生徒は、**未来社会から本校に遣わされた留学生**であり、本校における三年間の学びを通して、未来地球の様々な課題解決に関わりながら意欲的に生きる

ための基礎基本を身につけること

が、彼らにもっとも求められていることである。よって本校の役割は、本校の指導と生徒自らの学びで生まれた価値を、生徒が無限に持つ様々な引き出しに、整然と、しかもいつでも使えるようにきちんと折りたたんでしまつてやることであり、三年後、その成果を身につけた生徒を、自信を持って未来社会にお返しすることにある。本校は未来に生きる「ひとつづくり」学校である。

2 教師像 「学びつづける教師である」

(1) 人間性豊かで、生徒のためにある教師である。

(2) 私学である本校の「学校像・生徒像・教師像」の求める方向を肯定し、それぞれが与えられた職務に邁進する教師である。

(3) 生徒、保護者、教職員および地域社会から信頼される教師である。

(3) 生徒、保護者、教職員および地域社会から信頼される教師である。

以下、その現実のために、「東北工業大学高等学校三像」を定める。

1 学校像 「学校の存在が地域の誇りとなる学校」

(1) 常に時代の要請にこたえる教育課程がある学校である。

(2) 未来社会が求める「人間力（生徒像）」を重視した教育活動を展開する学校である。

(3) 生徒一人ひとりの個性を伸張させ、全ての生徒の進路目標を実現させる学校である。

(4) 地域社会から愛され、生徒・保護者に信頼される

学校である。

学校である。

(1) 人間性豊かで、生徒のためにある教師である。

(2) 私学である本校の「学校像・生徒像・教師像」の求める方向を肯定し、それぞれが与えられた職務に邁進する教師である。

(3) 生徒、保護者、教職員および地域社会から信頼される教師である。

(3) 生徒、保護者、教職員および地域社会から信頼される教師である。

3 生徒像 「本校校則の意味を深く理解できる生徒である」

○規律：規律を守り秩序を尊ぶこと。

○清廉：心が清く行いが正しいこと。

○節度：区切り正しくかたよらず万事にほどよいこと。

(1) 正しい判断力を身につけて、主体的で意欲的に行動する生徒である。

(2) 感謝する心を持ち、さわやかなあいさつができる生徒である。

(3) 社会における人間としてあるべき姿を理解している生徒である。

学校である。

個人情報の取り扱いのお願い

会長 加藤 義夫

個人情報の取扱に関する件で何か申し出がある場合には、お手数ながら下記のフリーダイヤルにご連絡をいただくか、学校へ郵便にてお申し出下さい。

お電話による場合 **株式会社廣濟堂 データベース部（業務委託会社）**
☎0120-058-651 お客様相談センター
(受付時間/平日10:00~17:00 日・祝・土除く)

お手紙による場合 **東北工業大学高等学校 同窓会事務局**
〒982-0836 宮城県仙台市太白区八木山松波町5-1

お世話になりました

電子科
前教頭 三浦 紘



の開催など、高度経済成長時代であり、活気に溢れていた時代でした。

思い出

秋冷の候、彩翠会の皆さまには、益々ご清栄のことと拝察いたしております。

さて、私こと、この三月をもちまして定年退職いたしました。この四十三年間充実した教員生活を送ることができましたことは、多くの先生方や、同窓生、在校生の皆さまのご指導とご協力の賜物と感謝しております。

私が、工大高校（当時は東北工業大学電子工業高等学校）に勤め始めた昭和四十一年当時は学校の南側の山の斜面には、大型の建設機械が何台も貼付き住宅団地を造成していました。日本全体が東京オリンピック

の開催など、高度経済成長時代であり、活気に溢れていた時代でした。

学校も創世記、活気に溢れていました。生徒たちには、発展を続ける産業技術の社会に飛び込んでいくという気構えが、感じられました。思い出すのは、最初の授業です。その時の緊張感が、私の教員生活の支えだったと思っております。部活動では、バドミントン部とコンピュータ部の顧問を担当いたしました。

英語科

新海 進



工大高に勤めて

同窓生の皆さん、大変御無沙汰しております。私はこの三月で四十一年間を勤

めさせて頂き定年退職を迎えました。昭和四十三年からの勤務で、最初は若さもあるから向かうことしか考えなかつたので様々な衝突もありましたが、逆に生徒と真剣に向き合うことができ、授業をはじめ学校行事の取り組み、放課後の勉強会、進路相談等は最後まで継続できました。その中から各自の方向を見つけ出し社会で活躍している姿に触れると大変嬉しく感じるものです。

よく四十一年間は長かつたでしょうと言われるが、多くの生徒と接していると毎日のようにどこかで何かが起り、それをできるだけ把握しながら新たなことを考えていくと常に変化のある日の連続で瞬く間に時が過ぎてしまったように思えます。時には生徒から学ぶこともよく有り、それを次の生徒に生かしていく工夫が人間関係のうえで大いに役立ちました。

本校は昔から「面倒見が良い」と言われてきたが、これは生徒との触れ合いを全ての面で重視する傾向があつたからだと思えます。その結果、進路の目標達成にも結び付いていったと考えます。同窓の先生方も数名在職されているので、これまでの良い面を積極的に継続してその輪を広げ、しっかりした土台を築き守っていくことを切望します。

勉強会の多数の参加、体育祭や工大高祭では毎日遅くまで生徒と一緒に準備をし、クラス全体が盛り上がったことは忘れられません。皆様の益々の御活躍を願っております。

有限会社 青葉自動車工業

専務取締役

青木 宣泰

（二十二期生）
仙台市宮城野区扇町五―八―十九
TEL 〇二二―三六―三五七〇
FAX 〇二二―三六―三五七六

ホテルレオパレス仙台

マネージャー

青山 佳夫

（二十二期生）
仙台市青葉区大町二―三―一
TEL 〇二二―二六―二九一七
FAX 〇二二―二六―二九一九〇

株式会社 キョーワテクノ

代表取締役

浅野 倫正

（二期生）
仙台市宮城野区岩切二―十一―五
TEL 〇二二―二五―五〇一八
FAX 〇二二―二五―五〇一九〇

株式会社 廣済堂

文教ソリューション部 仙台営業所

石井 幹雄

（十五期生）
仙台市若林区舟丁十八―二
TEL 〇二二―二四―七五八五
FAX 〇二二―二六―一六八八三

株式会社 北州

代表取締役

石塚 博文

（十四期生）
仙台市青葉区立町三―一
TEL 〇二二―二六―一〇〇四
FAX 〇二二―二六―一〇六〇

専門学校 花壇自動車大学校

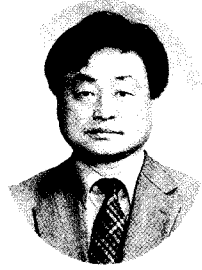
広報部長

猪股 宣明

（十五期生）
仙台市青葉区花壇八―一
TEL 〇二二―二二―三三三八
FAX 〇二二―二六―一七九〇四

英語科

鈴木 靖夫



大きな変化の
十五年間

新校名に変わった平成六年から二十年まで、十五年間お世話になりました。当時の校舎で今も残っているのは、本館、武道館そして第二体育館のみです。新校舎の整備だけでなく、コース制の導入、男女共学、少子化対策など工大高が大きく変化した変革の時代でした。

真つ先に思い出す出来事は、海外研修でアメリカ西海岸に二回、オーストラリア三回、イギリス一回の計六回行ってきたことです。延べで百人を超える生徒と海外での長期生活を体験。国も違えば文化も違う、同じ英語でも発音も違えば綴りも違うといった状況での研修は忘れられない思い出になりました。

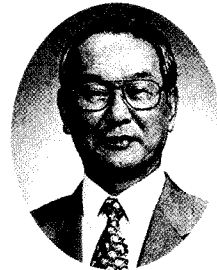
平成十一年から普通科に女子が入学しましたが、当時担任だったクラスの応援団長のY君（現宮城県警察官）が生徒募集リーフレットのモデルに選ばれ、完成間もない二号館での写真撮影も楽しい思い出の一コマです。また、担任をした教員二人が現在母校で教諭として活躍されているのを見ると、この十五年間の時の流れの速さには感慨深いものがあります。

少子化の時流の中で、生徒数は当時のほぼ半数近くになってしまいました。今年度は週三日、講師として出講していますが、廊下を歩いていると肩と肩がぶつかり合うようになつてのにぎやかさがむしろ懐かしい気がします。一学年十六、七クラスもあつた時代はもう戻つてこないかもしれませんが、その分「面倒見のよい学校」の伝統を引き継ぎ、「出口指導に自信あり」と名実共に言える学校を築いていってほしいと思います。

昭和四十一年四月、当時、東北工業大学電子工業高等学校へ新任教諭として勤めることになりました。

電子科

藤澤 康雄



四十三年前の思い出

当時の電子科長は後の七代目校長先生であられた大友正雄先生で、大友先生から「藤澤君、良い下宿が見つからないので寮に荷物を置いてください」と言われました。新任の私はそれを断る術もなく否応なく寮に住み込みで寮監も勤めることとなりました。

当時の寮は百四十名ほどの生徒が生活していて県内だけだけでなく遠く全国から生徒が集まっていました。中には二十歳を迎えた成人の高校生もいましたから私は二歳しか年が違わないことになりました。

私の教員生活のスタートは百四十名の生徒と寝食を共にする集団生活から始まりました。

大学時代は体育系のクラブで、二年間は合宿生活でしたので集団生活には慣れていましたので生徒と一緒に寮生活は実に楽しい生活でした。何でも言うことを聞いてくれる生徒が百四十人もいるのですから。また、他の先生が寮監の日は、寮の門限時間を破つて生徒と一緒に部屋の窓から出て町までタクシーで遊びに行く、帰日も窓から入る等、また、朝は寝坊で授業が始まつて生徒が私の寢床に来て「先生、授業が始まりましたよ」と起されたり。楽しい思い出に切りがありません。

一年で辞めようと思つていた教職を四十三年間も続けることができたのは、あの寮生たちとの楽しかった一年間が大きな力になっていのではないかと思つています。

“ 当時の寮生の皆さん！元気でですか ”

これからもがんばってください。

ナショナルエレベーター工業株式会社

取締役
相談役

大場 律夫

(三期生)

通研電気工業株式会社

常務取締役

長田 三雄

(一期生)

有限会社 小野商店

代表取締役

小野 光栄

(二期生)

コールテック株式会社

代表取締役

小幡 早苗

(四期生)

柿沼設備

代表取締役

柿沼 馨

(十六期生)

株式会社 サンペンディング東北

代表取締役

加藤 義夫

(一期生)

仙台市若林区六丁日南町二二八
TEL 〇三一一二八七四五四一
FAX 〇三一一八七二八六九

仙台市宮城野区榴岡三十七番八〇四
TEL 〇三一一九五二六四六
FAX 〇三一一九五二六四六

仙台市太白区西中田七十一番八
TEL 〇三一一三〇六一三三五
FAX 〇三一一三〇六一三三五

伊具郡丸森町大内七夕西二十七番一
TEL 〇二二四一七九二五四三
FAX 〇二二四一七九二八一九

仙台市青葉区上愛子字松原四七一十二
TEL 〇二二三九二八〇八〇
FAX 〇二二三九二八〇八八

仙台市青葉区明通三一九
TEL 〇二二三七七二二八〇〇
FAX 〇二二三七七九二二一七

特集

新任のご挨拶



角 晃 司

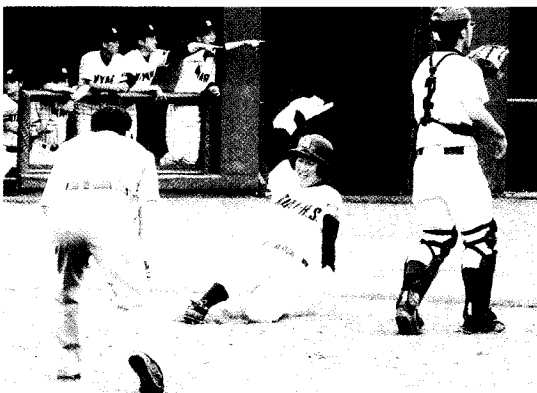
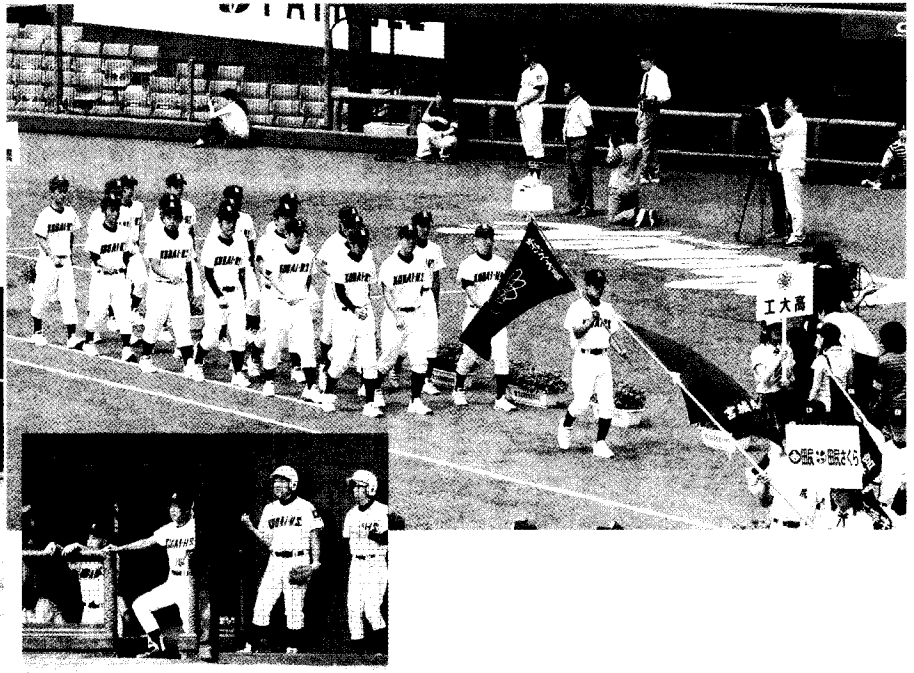
私は四月末で二十七年間、勤務した前職の「三菱ふそうトラック・バス(株)」を退社、五月十八日付けで東北工大高に保健体育教諭、そして野球部監督として招聘されました。角晃司と申します。

具、そしてお世話になる方に感謝の気持ちを持つ事に三つの基本理念とし、「目配りと気配りが出来、抜け目無く、隙が無く、かつ思いやりがある人間」になつてもらう為の生徒指導に勤める所存です。

私に与えられた任務は、もちろん野球部の強化ですが、それ以前に高校三年間で社会に出てからの厳しさを教え、社会に出て通用する人間を野球を通じて育てる事だと思っています。その為に一般企業で学んだ経験を生かし、「礼儀・礼節、社会の常識を学び、知り、実践する事」、「時間を大切に有効に使い、そして時間を守る事」、「グラウンド、道

その上で出来るだけ早く目標とする甲子園出場を果たし、「日々の苦しい努力は必ず最後に実る事」を選手と共に味わえれば最高だと思います。そして私の育てた生徒が大学や企業の野球部、または一般社会で活躍して貰う事を私自身の励みにしたいと思っています。

最後にになりましたが、皆様本校野球部の応援をどうぞ宜しくお願い致します。



京王観光株式会社 仙台支店

支店長代理 木田 勝政 (二十五期生)

仙台市青葉区本町一丁目二一五
TEL 〇二二一七三二八
FAX 〇二二一七三二八

有限会社 クラフト

代表取締役 河野 照一 (八期生)

仙台市青葉区宮町一丁目一五二
東急トエルアルス宮町一丁目〇二
TEL 〇二二一七六四二
FAX 〇二二一七六四二

マリニピア 松島水族館

館長 西條 正義 (四期生)

宮城県松島町浪打浜十六
TEL 〇二二三五四二〇二〇
FAX 〇二二三五四一五二〇四

株式会社 インタージエム

代表取締役 佐藤 郁雄 (三期生)

店長 佐藤 正剛 (三期生)

仙台市青葉区中央二丁目一五七F
TEL 〇二二二二七三六八
FAX 〇二二二二七三六八

サカツオートサイクル

代表 佐藤 浩司 (十九期生)

仙台市青葉区中山二丁目一三六
TEL 〇二二二七八二二四二
FAX 〇二二二七八二二四二

丸吉電機株式会社 東北支店

支店長 志子田 秀之 (二十一期生)

仙台市若林区御町三丁目一七
TEL 〇二二一八四一三〇三五
FAX 〇二二一八四一八六四〇

工大高を会場に!!

サマーカップ工大

富澤 美枝

八月二十二・二十三日の両日、本校アリーナ21と東北工大の八木山キャンパス体育館を会場にして、第五回 Summer Cup Kodaï 中学校女子バレーボール大会が開催されました。

今回で五回目になるこの大会は、前校長が地域の中学校の先生方の強い要望を受け、地域との交流と活性化を図る目的でスタートしました。現在本校女子バレーボール部にはこの大会に参加した選手が多く入っています。

また開催にあたって、第一回より株式会社サン・ペーディング東北(一回生)よりご協賛をいただき、運営にご協力いただいております。

当日は参加中学校十六校の選手や先生方、そして保

護者をはじめとする応援の方等、総勢六百名余の来校者を迎え、文字通り熱戦が繰り広げられました。新チームとなつて初めての大会ということもあり、この大会を励みに夏休みの練習に取り組んできたという学校がほとんどで、チーム関係者から感謝の言葉を多くいただきました。本校のバレーボール部員にとつても、運営に携わること、自分たちが各種大会に出場できる有難さを感じることができ、良い機会になっていきます。

今後も学校行事の一つとしてよりよいものなるように努力していきたいと思っています。

ご協力いただいた関係者の皆様ありがとうございます。



競技風景



開会式



試合終了

<p>株式会社 システムズ</p> <p>代表取締役 島田 信一 (四期生)</p> <p>仙台市若林区御町二一五―四 TEL 〇二二―三三八―〇〇四一 FAX 〇二二―三三八―〇〇八二</p>	<p>有限会社 鈴木防災設備</p> <p>代表取締役 鈴木 康志 (六期生)</p> <p>仙台市泉区南光台三―二四―八 TEL 〇二二―三三四―五六六一 FAX 〇二二―二九九―〇〇六八</p>	<p>有限会社 仙台廣建</p> <p>代表取締役 高岡 壽雄 (二期生)</p> <p>宮城県利府町神谷沢字館の内六三―一三 TEL 〇二二―二五五―二二二三 FAX 〇二二―二五五―二二一九</p>	<p>株式会社 泉タクシー</p> <p>代表取締役 高平 孝雄 (二期生)</p> <p>仙台市泉区七北田字新田二二―一 TEL 〇二二―三三七―一一三三 FAX 〇二二―三三七―九九七</p>	<p>株式会社 登米プラス</p> <p>営業部長 武山 祐樹 (三十七期生)</p> <p>名取市上余田字千刈田五四三―一 TEL 〇二二―三三八―二五五八八 FAX 〇二二―三三八―三五七〇一</p>	<p>戸部電材株式会社</p> <p>代表取締役 戸部 正 (五期生)</p> <p>岩沼市押分字南谷地八六―一五 TEL 〇二二―二二五―一六七〇一 FAX 〇二二―三三三―一七四〇一</p>
---	---	---	--	--	---

平成19年度決算書

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増△減, 備考. Rows include 収入の部, 支出の部, 総務費, 事業費, 予備費, 残高, 基金現在高.

監 査 報 告

平成20年度4月14日 東北工業大学高等学校において
1.現金出納帳 2.預金通帳 3.現金 4.領収書
等を精査した結果、記載の通り相違ないことをご報告致します。
平成20年4月14日

監事 柿沼馨
監事 石井幹雄

同窓会費納入者御芳名

平成21年9月1日現在 期順、音順(敬称略)

- ◆電波生 林田進悟 渡辺尚親 ◆1期生 浅野倫正 石田勝 大場久吉 長田三雄 小野悠 加藤義夫 菊地常信 桑折孝雄 佐々木勝夫
庄司武 鈴木邦昭 長岡由彦 永澤昌春 半澤博 本田十三男 増沢勝彦 松木泰昌 守屋暢夫 若生繁 ◆2期生 相澤雅 石田憲治 伊藤尚喜
権藤俊一 佐々木宣生 佐藤弘一 鈴木伸一 高橋忠 高平孝雄 福来正三 松山宏佑 南和義 吉田敏男 ◆3期生 阿部清志 遠藤浩 佐藤郁雄
飛澤章 中村宗弘 藤本俊明 三浦修市 森育夫 ◆4期生 浅野初朗 井上幸一 卯花正弘 小幡早苗 菊田正典 西條正義 櫻井博
佐々木伸夫 佐藤博泰 佐藤信夫 四野見守男 玉田俊明 人見啓一 増田修 八巻正人 ◆5期生 五十嵐保行 熊谷義則 櫻井伸比古 佐藤重換
武田行雄 戸部正 村田忠 山田清 ◆6期生 伊勢正敏 伊藤和夫 井上幸 岩本政郁 内海克夫 大場敏郎 加藤佑也 木村拓 鈴木康志
星光太郎 渡辺剛志 ◆7期生 小野照男 小野和男 檜村眞司 木村達男 野村憲芳 半澤和夫 平間清 細谷栄一 松純一 ◆8期生 太田均
大野澤淳一 佐々木正純 庄子努 堀田昇一 水戸部和幸 ◆9期生 木川田明弘 佐々木達雄 佐藤茂 堀巳喜男 ◆10期生 栗野眞 笠原清
菅場正史 菊地徹 岸田清実 我妻博文 ◆11期生 岡部森敏 笛俊明 村岡信二 渡辺一治 ◆12期生 内村滋 岡田晃 小野広志 鹿又次徳
菊地茂 富樫悦夫 本田稔 ◆13期生 阿部大介 荒川栄光 大木一史 ◆14期生 鈴木裕一 土井亨 針生宗夫 ◆15期生 石井幹雄 庄司伸一
◆16期生 佐藤英明 千葉信彦 ◆17期生 阿部恒司 佐藤宏 莊司剛 羽川喜富 ◆18期生 小林宏 佐野浩 二階堂英一 ◆19期生 桜井真澄
佐藤浩司 ◆20期生 安部典昭 狩野仁宏 佐藤尊司 島貫敏浩 中里博美 林崎正 武藤高弘 ◆22期生 青木宣泰 木村和也 ◆23期生
今井洋文 菊地政宏 東海林修 ◆24期生 木村仁紀 小山秀行 朴澤光紀 渡邊亮人 ◆25期生 佐藤和浩 佐藤俊一 ◆26期生 永野英明
◆28期生 高橋功充 宮内修 ◆29期生 石川秀治 浦田哲也 結城貴寿 ◆30期生 海藤英俊 鈴木慶太 ◆31期生 遠藤浩昭 小野智代
金谷俊明 佐藤正剛 長嶋豊晴 ◆32期生 奥田昌史 小島岳史 佐藤健 須田正裕 ◆33期生 千葉雅之 藤井貴也 ◆34期生 木村真
畑屋武志 ◆35期生 鎌田祐一 佐藤清文 田村慎悟 渡辺大志 ◆36期生 佐藤隆司 佐藤幸弘 千葉康志 古川勇 堀江良一 ◆37期生
鈴木聡 田代健一郎 七海英雄 村上秀一 ◆38期生 北村和也 齋藤康希 千葉弘喜 前田河潤 宮城功一 ◆39期生 石泉智章 小野佑樹
齋藤陽 松田大 渡邊歩 ◆40期生 青木純 勝又久 疋田好太郎 森伸 ◆41期生 伊藤政彦
菊地主 武田諭 ◆42期生 興野悠太郎 菅原大富 濱村崇介 笛弘恭 三浦いつか 宮地秀明
本木信行 山家浩司 ◆43期生 熊谷卓也 盛田貴雅 ◆44期生 阿部朋弘 石岡眞太郎
佐々木優太 莊司泰樹 東海林隆 高橋大 丹野清太 角田龍孝 東海林高 遠山亮 早坂隆太
◆45期生 川崎祐太 藏本翼 榑聖哉 佐藤裕亮 佐藤征哉 須賀直哉 新田知也 林準矢
播間友寛 六鎗遼 村井寛 芳野祐大 若生耕太 渡邊佑仁

編 集 後 記

いつも快よく原稿をお寄せ下さる諸先生、同窓生の皆様のご協力で第32号が完成いたしました。厚くお礼申し上げます。
ご意見、ご要望がありましたら編集委員までお寄せ下さい。
編集委員 永野、藤井、千葉、鈴木